

1つのテーマ (竹やぶ問題) を通して取組む
[本業連動型SDGs]
事業のご案内



SDGs BAMBOO PROJECT

パートナーシップで取組むSDGs

SDGsバンブープロジェクト

事務局 山村公人(一般社団法人九州循環共生協議会・理事)

S D G S

SDGs 3つの課題

受益者が見えない

本業に関連しない

KPI・KPG（評価軸）
が分かりにくい

SDGsバンブープロジェクトとのパートナーシップ/連携で解決

プレゼン内容（本資料の内容）

目的・背景など



活動内容



課題解決
のご提案

活動の目的

外来種・モウソウチク
による環境/社会課題
ビジネスで解決



地下茎が侵食



根が浅い



人が寄り付かない
(手に負えない)

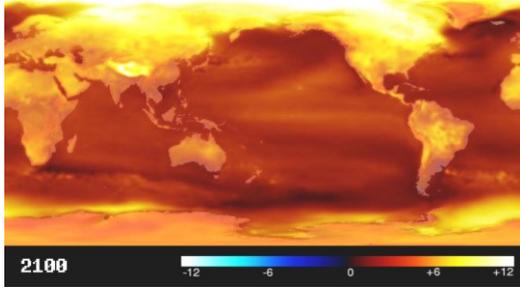


密集・急成長



在来の植物を枯らす

背景 (経済活動がもたらしたものの。CO₂排出・杉/檜/孟宗竹等の経済林)



単一樹種(人工林/竹やぶ)により多様性ない脆弱な土壌



地球温暖化

海水温上昇、水蒸気増加

山間部で線状降水帯(下図ご参照)

根張りの悪い経済林が倒木

土砂崩れ流木

河川せき止め・氾濫(上流域)

生命の危機/甚大な経済被害・復旧費用

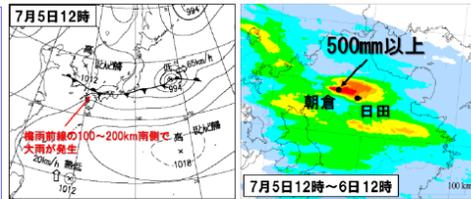
「平成29年7月 九州北部豪雨」の大雨の特徴と要因について

大雨の特徴

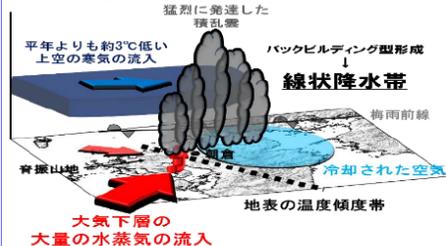
福岡県朝倉市、大分県日田市の狭い地域に集中し24時間で500ミリ以上の降水量があった。

大雨の要因

- ① 対馬海峡に停滞していた梅雨前線に向かって多量の水蒸気の流れ込み。
- ② 上空に平年より低い寒気が流入し、大気の状態が不安定。
- ③ 地表の温度傾度帯付近で積乱雲が次々と発生。
- ④ 上空の寒気の影響で猛烈に発達し、東に移動することで線状降水帯が形成され同じ場所に強い雨を降らせた。



左図:7月5日12時の地上天気図、右図:7月5日12時から6日12時までの降水量分布(解析雨量)



平成29年7月 九州北部豪雨の大雨の発生要因のメカニズム(気象庁報道資料より)

平成 29 年 7 月 九州北部豪雨災害



小野川 (大分県日田市小野地区) の河道閉塞状況 (九州地方整備局提供)



河川の堤防決壊 矢部川 (平成24年7月14日) 写真提供:九州地方整備局

中下流域(平野部)の堤防を越える(想定外の流量の)一因は、保水力のない里山にあるとの考えも。都市部にとって、里山保全は安全対策にも相当。

20世紀の産物(環境課題)に社会全体で取組む活動

世の中に数多くある環境/社会課題に対し、数多くの手段がある中で、私達は竹やぶに着目しました。多様な主体（都市部住民・中山間地住民、生産者・消費者など）・社会全体で取組む仕組みづくりに試行錯誤しています。SDGsは共有できる指針であり目標です。共鳴頂く多様な主体との連携を模索しています。

生物多様性保全

気候変動
適応策

水源涵養
機能向上

土砂災害
対策



外来種の
弊害駆除

サステナブル
な資源(竹)
活用

地域活性化
(6次化)

障がい者
就労機会

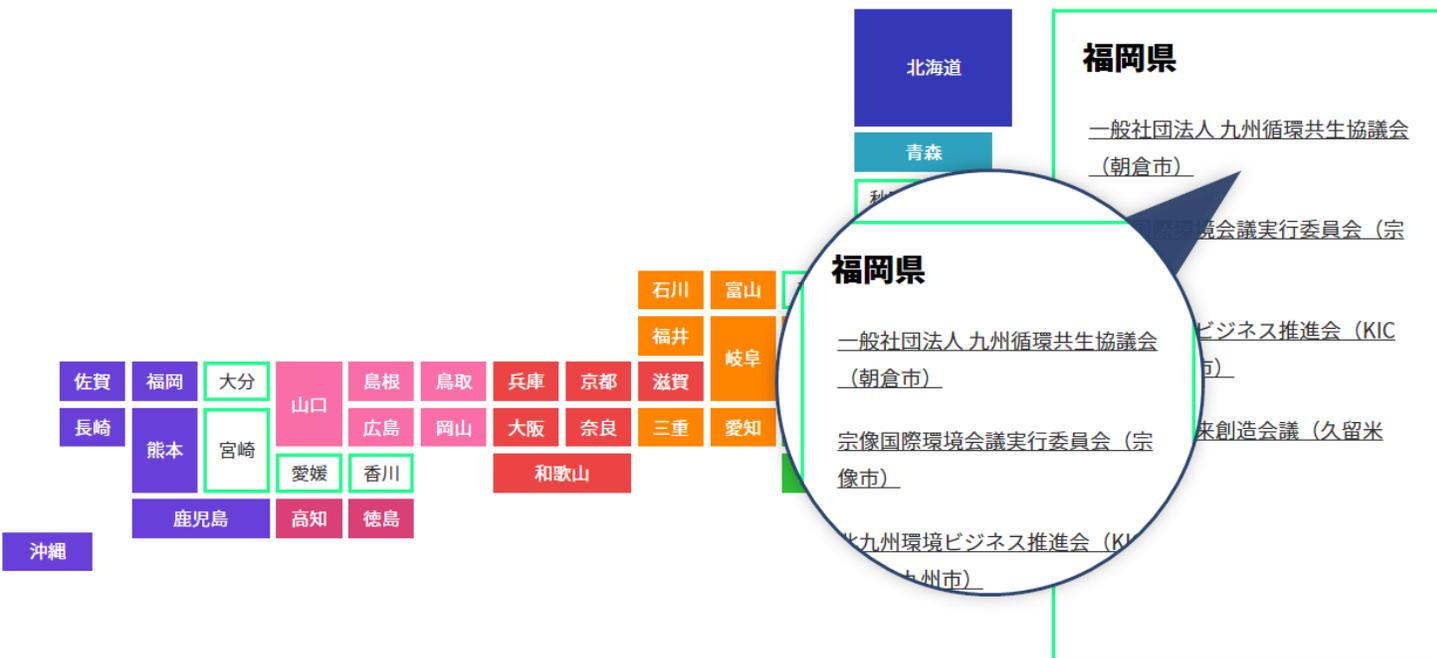
SDGs バンブープロジェクトとは？

2021年度 九州SDGs経営推進フォーラム 分科会

各分科会の詳細は随時更新

分科会名	事業者名	事業内容
1 ヴィーガン&ピオ マルシェ	Vegropper 村畑 啓子	<ul style="list-style-type: none"> ヴィーガン&ピオ マルシェ・クッキングを開催する。オーガニック野菜やTOF（豆腐）そぼろ）を販売し、他にも音楽ライブを行う。
2 アートで考えるSDGsプロジェクト	株式会社シーノ・オフィス 白神 しのぶ	<ul style="list-style-type: none"> 全国の女性作家の方とSDGsを通じて。2021年は、「環境」をテーマにした話を伺い、アーティストたちとコラボレーションしていきたい。また、株式会社YOUI（ユウイ）と連携していく。
3 SDGsバンブープロジェクト推進フォーラム	一般社団法人九州循環共生協議会 山村 公人	<ul style="list-style-type: none"> 経済的利活用を通じ、荒廃放置竹（竹の失、土砂崩れ誘発）の解消を目指す。 未利用資源である竹の加工（米粉、めんま等）に向けて関係

当社団含め複数の企業/団体でフォーラムを組成し、分科会として活動中（2020年度～）です。



「環境省ローカルSDGs」実践地域等登録制度

SDGsバンブープロジェクトの事務局を担う当社団は環境省事業にもこれまで多数関与しています。

放置された竹やぶは拡散。拡散防止には伐る以外に手立てなし。経済的仕組みが必要

現状 (Before)
環境/社会課題の放置



翌春 (After)
経済を通じた環境社会課題解決



13 気候変動に
具体的な対策を

6 安全な水とトイレ
を世界中に



8 働きがいも
経済成長も

12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも
守ろう

11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう

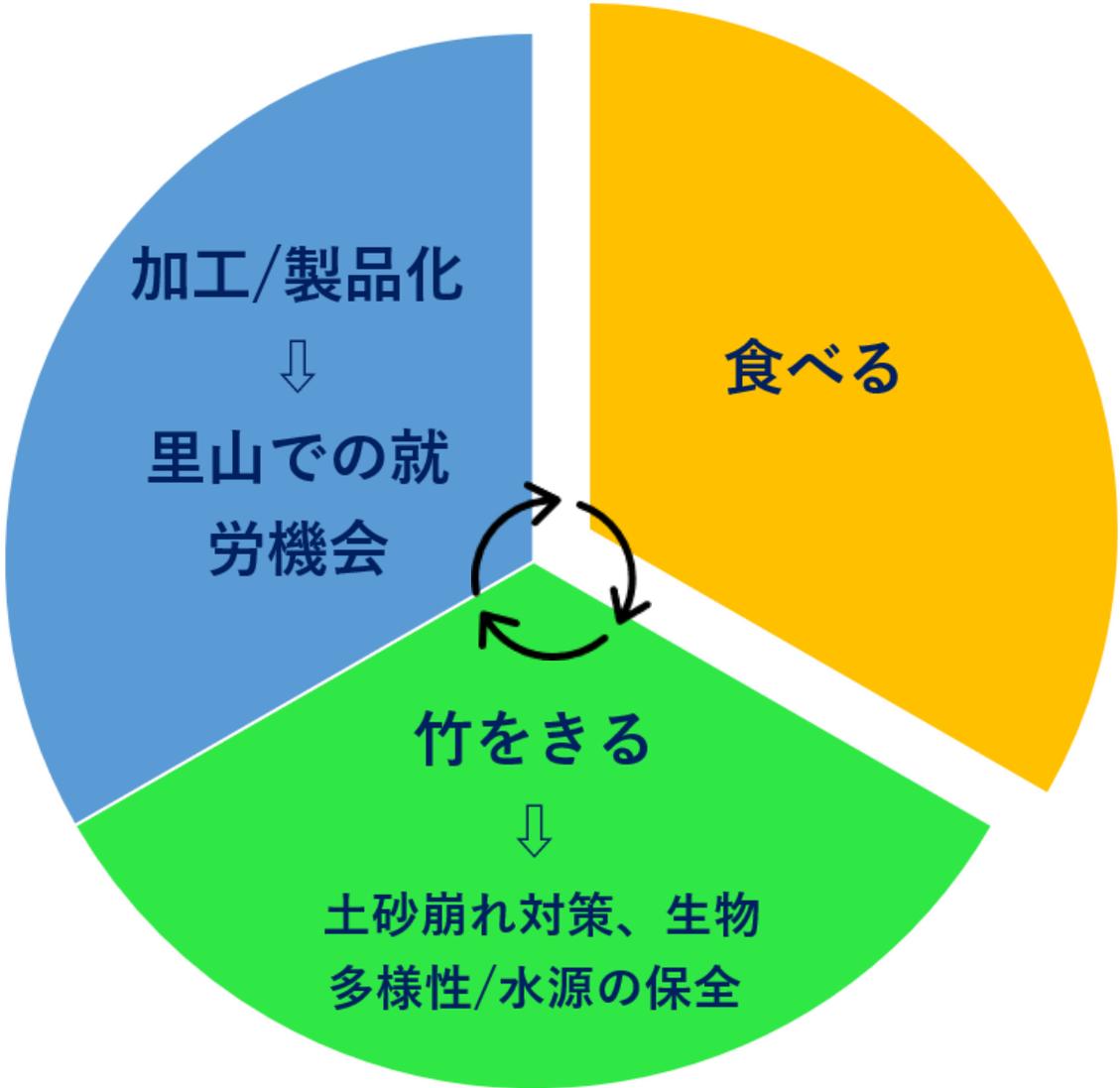


消費による
課題解決

経済・環境・社会の好循環



解決手法



土砂崩れ対策

生物多様性保全

水源保全

地域活性化

SDGs バンブープロジェクトの 事業方針

2015年の国連総会で全会一致で採択された《我々の世界を変革する持続可能な開発のための2030アジェンダ》の文書の一部[SDGs前文]に倣い、3つの方針で活動しています。

① bold and transformative steps

大胆かつ変革的な手段

→従前の大量流通/大量販売に依拠しない、
非販売(ノベルティ/クラファンなど返礼品)での流通促進に注力

② no one will be left behind

誰一人取り残さない

→サプライチェーンに必ず**障がい者の就労**

③ balance the three dimensions of sustainable development:

the economic, social and environmental.

持続可能な開発の三側面、すなわち

経済、社会及び環境の三側面を調和させる

→**明確な環境/社会課題**の確認、および、**解決のための経済活動**



Seventieth session

Agenda items 15 and 116

Integrated and coordinated implementation of and follow-up to the outcomes of the major United Nations conferences and summits in the economic, social and related fields

Follow-up to the outcome of the Millennium Summit

Draft resolution referred to the post-2015 development agenda

Transforming our world: the 2030 Sustainable Development Agenda

The General Assembly

Adopts the following resolution on the adoption of the post-2015 development agenda

Transforming our world: the 2030 Sustainable Development Agenda

Preamble

This Agenda is a plan of action to strengthen universal peace, eradicate poverty in all its forms and address the global challenge and an indispensable

All countries and all stakeholders, acting in partnership, are determined to implement this plan. We are resolved to free the world from poverty and want and to heal and secure our planet. We are determined to take bold and transformative steps which are sustainable and resilient. As we do so, we ensure that no one will be left behind.

The 17 Sustainable Development Goals, announcing today demonstrate that we are determined to achieve what we did not achieve. They seek to

15-15900 (E) 220915



equality and the empowerment of all women and girls, and the indivisible and balance the three dimensions of sustainable development: the economic, social and environmental.

The Goals and targets will stimulate action over the next 15 years in areas of critical importance for humanity and the planet.

メンバーの紹介（一部）



株式会社豆吉郎

メンマ新製品の企画/販売

西日本新聞社グループ。「豆腐の移動販売」で西日本地域を網羅。SDGs観点で新商品を検討する中で、協業する運びとなり、メンマ製品企画。販売準備中。



障がい者支援センターころろ
(福心会グループ)

食用竹粉の加工作業

地元(八女市)の竹やぶ問題解決に興味あり参加。
[SDGs事業]を大袈裟に捉えず通常通りの受託業務として、食用竹粉の加工作業(の一部)を行う。



みちの駅たちばな

メンマの原料・幼竹(2mに伸ばしたタケノコ)収集

福岡県八女市にある直売所。タケノコをはじめ旬の美味しい物に一年中出逢えます。これまで製品化してこなかった幼竹の加工を開始。新たな名産品作りに挑戦中。



株式会社神林堂

竹粉入り【おからクッキー】 【せんべい】の製造/販売

創業明治13年「老舗の味・ダイエットと健康の神林堂」
大手ECサイトで「グルメ大賞」3回受賞、レビュー総数23,000件超、総合評価4.5の超有名店。

協働のご提案 (Webサイトより)

【企業の皆様との協働】 3つの目的と3種類の手法

評価項目はSDG s 各ゴール番号。私たちと一緒に取組みませんか？

目標は「外来種モウソウチクをジャンジャン伐る事！」

3つの協働方法をご提示。でも目的は共通しています。

【目的①】

生物多様性(在来種)保全

【目的②】

豪雨時の土砂崩れ対策

【目的③】

産業振興/地域活性化

協働方法③

『クラウド型応援金サービス<KASSAI>を活用したSDGs広報』について

Fintertech株式会社(大和証券とクレディセゾンの子会社)のサービス活用し、
サイトを無料開設。貴社のSDG s の取組をPR

投げ銭サービスKASSAI youtube動画

貴社が推進するチャリティプログラム(=竹を食べて里山保全)に一般個人が参加(返礼品付き)で応援する形となります。主たる狙いは貴社のファンづくり(ブランディング広報)です。

KASSAI利用のチャリティプログラム類似事例
応援サイト一覧 から[チャリティ・ソーシャルグッド]をクリック頂けるとご覧いただけます。

竹の伐採や加工(障がい者施設で実施)費用への応援をお呼びかけ頂きます。

より多くの応援者を募る為に(返礼品について)

返礼品率を高める事により、応援参加者(すなわち、貴社取組の認知者)を増やすことが可能です。但しECサイトではない為、市販品以外*の返礼品(企業ロゴ入りせんべい等)が必要です。



【企業と里山】

パートナーシップで取組むSDG s [3つの協働方法]

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



協働方法①

直接参加(竹やぶ整備・植樹)



▶作業ボランティア/竹伐りイベントなど

▶ご要望があれば、落葉広葉樹の植樹イベントも。

▶借地などでロケーション特定も可能です。



地域貢献(景観保全/土砂崩れ対策)に加え、ピフュー(竹やぶ)アフター(多様な在来種の森)の写真映えます。

協働方法②

消費① ノベルティ(竹加工の食品等)

消費② 社員食堂・弁当



消費者プレゼント/手土産に
→採用活動、得意先訪問時など



竹粉せんべい (企業ロゴの焼き印)



竹粉クッキー、メンマの外箱に企業ロゴ



プラスチック製ノベルティの代わりに。



【社員食堂】
メンマシリーズのメニュー

【売店】
食物繊維豊富な竹粉クッキー等

↓
ピザ・メンマ丼・餃子など多様な料理に使えます。

協働方法③

クラウド型応援金サービス

< KASSAI >

を活用したSDGs広報



Fintertech株式会社(大和証券とクレディセゾンの子会社)のサービス [KASSAI] を利用

(1) ブランディング策としてのご活用
●チャリティプログラム(=竹を食べて里山保全)サイトを構築・ご周知

●竹伐採や障がい者就業支援(竹加工)費用に集まった応援金を使用

●貴社ロゴ入りせんべい等を返礼品として応援者へ送付(集まった応援金が原資。貴社の予算は不要)

●貴社商品サンプル、広報誌やSDG s レポートを返礼品と同梱可能

(2) 社員様向けに応援金を募るサイト
●社員様の帰属意識向上(社内ブランディング)に効果的

●企業文化(社員活動)を就活生にPR
●この取組み自体話題性ありSDG s 取組として対外的にも広報可能

SDGs 3つの 悩み

パートナーシップで
解決しませんか？

受益者が見えない

本業に関連しない

KPI・KPG（評価軸）
が分かりにくい

		ポイント	受益者	本業	定量評価
協働① 竹やぶ里親プログラム		<ul style="list-style-type: none"> ■道の駅を窓口に竹やぶ地主を集結。協賛企業と伐採コラボ ■定期借地などで「企業の森」も可能 	竹やぶを手になくなった高齢農家	<ul style="list-style-type: none"> ■CSR部門 ■IR(Investor Relations)部門 	KPI 社員の参加イベント数 ＝竹伐り体験/メンマ作り等
協働②	ロゴ入り竹関連食品	ノベルティ化 ⇒社内外向けブランディング	【贈り手】ブランディング。「竹を食べて里山保全」PR 【受け手】里山保全に食べる事で貢献・体験	<ul style="list-style-type: none"> ■営業部門 ■採用部門 	KGI 食品に使われた竹の量 ＝外来種駆除量
	メンマや竹粉スイーツを社員食堂に！	「竹を食べて里山保全」をPRする機会が増える。	<ul style="list-style-type: none"> ■里山保全に食べる事で貢献・体験できる社員 ■メニュー開発で里山保全を謡う事できる給食会社 	<ul style="list-style-type: none"> ■CSR部門 ■IR(Investor Relations)部門 	
協働② [参考事例] Table for Two		先進国で1食とるごとに開発途上国に1食を贈るプログラム。社員参加型のプログラムとしてトヨタ自動車の国内の全社員食堂など参加団体数709（2019年末）。例えば三井物産は、定量的なCSR事業としてサイトで公開している。			
協働③ 障がい者支援施設への寄付<返礼品付き>		<ul style="list-style-type: none"> ■伐採竹を施設が市民から買取る費用 ■食用竹粉に加工する設備に充当 	<ul style="list-style-type: none"> ■一般労働市場で食を得る事が困難な方々 ■竹やぶを手になくなった高齢農家 ■土砂崩れ危険地域の住民 	<ul style="list-style-type: none"> ■CSR部門 ■IR(Investor Relations)部門 	KGI ・竹伐採量 ・障がい者賃金
協働③ [展開例] KASSAIを利用して個人を巻き込む		「我が社が行うチャリティに個人も参加できますよ」 「他では手に入らない返礼品をご用意していますよ」 <ul style="list-style-type: none"> ■自社の取組を、返礼品の提供を通じ、個人を巻き込む事例。CSR広報の一種。 ■個人＝一般消費者で行っている。個人＝社員に限定も可能。帰属意識や自社誇りが目的。 ■返礼品率をUPすればお得感あり。但しECサイトとの誤解避ける必要あり。その際、市販されていない「企業のロゴ入り・竹関連食品」は整合性が取れる。 			

パートナーシップの進め方



一緒に考える

新たな経営課題・SDGsと一緒に考えます。
「餅は餅屋」「三方よし」がキーワードです。



本業へのメリットを追求する

相互のメリットなければ続きません。メリットとは？を明確にします。慎重に考え行動します。



無理をしない

息の長い取り組みが必要です。性急な判断、大規模な投資、手間がかかる事などは避けるようにしています。

マスコミ取材、講演
実績など

亡き父と歩む自然との共生

「環境のことを打ち込んでいるのは、おやじの教えがあったから。そう言いながら、一般社団法人九州循環共生協議会」の山村公人理事(56)さん。久留米市は、14年前に68歳で亡くなった父、芳弘さんの顔写真を飾らした表情で見てくれた。

市環境部に長く勤めた芳弘さんは口数が少なく物静かだった。だが「何度となく聞いた『自然との共生』という言葉がずっと残っている。おやじの刷り込みは大成功、といったところですね」と笑う。

八女市や久留米市などさまざまな場所で行う竹林



九州循環共生協議会理事 山村 公人さん(56)

竹林の活用で「環境功績賞」



環境功績賞を受賞した山村公人さん(写真)は敬愛する父、芳弘さん(写真)による工務所が起した斜面「2022年11月13日」みやま市(山村さん提供)

日本の原風景のように見えるが、多くが産業目的で輸入され、人土に植えられ放置されたモウソウチンだ。

久留米市などによると、竹は行政で管理すべき樹木に該当せず、正確な面積の把握や対策が進んでいないところが多いい。竹林は大雨で土砂崩れを誘発する危険や近隣

の田畑に浸食した地上基から竹が生え、畑を荒らすことがある。だが、しなやかなため伐採に手間がかかる上、使い道も限られ「行政からも民間からも開放された場所」(山村さん)として放置されていた。

そんな竹は利用価値を付与し、伐採と活用をビジネスとして社会に組み込めば、企業

心事業者が進出し、竹蓄の解決につながるのではないかと、2016年に協議会を設立。急いで、里山保全と結びつけて伐採後の竹の利用方法を提案。幼竹を使って竹蓄を推進し、併せて使う竹を市内の高層山のふもとで伐採しながら、膨大な量の竹を個人の力で解決するには限界があると感じたことがきっかけだった。協議会を立ち上げたものの、時勢を切り開きながら活動する期間が続いた。「産にならないことをし続ける業人」と後ろ指を指されたこともあった。

だが、続けることで賛同者も増え、ビジネスとして確立しつつある。今年度は地産地消に関する取り組みで功績のあった個人や団体に贈る「環境功績賞」を授賞した。くも、受賞者を選出したのは父が長く勤めた市環境部だった。

「おやじと結ばれた」と思っている。芳弘さんの写真に、樹やなまなごしを向けた。父の背を追いつながら、これからも歩む。

(玉養采出加)



オリジナル

るほか、同社の通販サイトでも購入できる。

255のメンバー6人のうち、松藤賢佑さん(16)は、

県によると、重症や中等の症、重症化リスクが高い場合は、医療機関への入院と

筑後市建設で利用開始の「GO」期間を2月27日

筑半き

同協会に1.5万円を交付し、お土産で活用できる。併せて、お土産で活用できる。併せて、お土産で活用できる。

今どきのSDGs

昨年12月上旬、嘉麻市の宮野地区で開かれた、モウソウ竹を食品に生かすための講習会。講師を務めた食品加工会社「アップレ」(糸島市)社長の日高栄治さん(75)が、粉状の竹を混ぜた「竹ぬか床」やメンマの作り方を説明し、住民ら約30人が耳を傾けていた。

参加した松岡朝生さん(69)は「竹ぬか床で漬けた野菜はうまみが強くなり、メンマも食感がいい」と満足顔。実は、材料の竹は放置された竹林で伐採したものだ。

成長が早く、林業や山地の防災にも悪影響を及ぼすモウソウ竹の放置は、筑後地区などでも問題になっている。

放置竹林 食に生かす



久留米の社団法人ぬか床活用などPR

る。里山を保全しようとして2020年春、久留米市の一般社団法人九州循環共生協議会が中心になって「SDGsパンブープロジェクト推進フォーラム」を発足させた。

フォーラムでは、放置竹林ラムの代表を務める山村公人が中心となり、八女市の「道の駅たちばな」の関係者らを対象にメンマ作りのオンライン講習や、嘉麻市の住民らに竹ぬか床をPRする教室などを展開している。

同市観光まちづくり協議会事務局長の有田芳行さん(69)は、市内で開かれた竹ぬか床活用を学ぶ教室に携わった。

「竹にめまは多く人の生活につながる問題と捉えている山村さん」

「竹蓄の解消は環境保全につながり、都市部に住む人の水資源なども守れる。全国に取組みが広がってほしい」と山村さん。「放置された竹林を減らすため、これからは竹を有効活用するアイデアを出し続ける」と意欲を見せる。

(森永健太、おわりの)

Goal 6 安全な水とトイレを世界中に 8 働きがいも経済成長も 12 人や生物の責任しつる責任 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう

EPO九州トピックス

インタビュー

インタビュー 2021年11月16日
EPO九州インタビュー：一般社団法人九州循環共生協議会

いいね! 5 シェア ツイート

これまで九州地方環境パートナーシップオフィスでは、多くの九州・沖縄地域の活動団体の皆様と協働するとともに、オフィスとしてパートナーシップを基礎とした中間支援を行ってまいりました。

今回はその中から、「令和元年度環境で地方を元気にする地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業」の採択団体として活動された、一般社団法人九州循環共生協議会の山村 公人さんに、近年のご活動や今後の展望についてお伺いしました。

ご参考

一般社団法人九州循環共生協議会 - ローカルSDGs (環境コンサルタント)

<https://local-sdgs.wixsite.com/q-junkan>

環境省ローカルSDGs - 地域循環共生圏づくりプラットフォーム- | 活動団体 (令和元年度採択団体) の紹介・つながる

http://chilikjunkan.env.go.jp/tsunagaru/chiliki_jichiran_r1/



【山村氏プロフィール】

山村 公人 (やまむら きみひと)
一般社団法人九州循環共生協議会 理事

CO2排出削減量の算定やカーボンオフセット等の事業から、近年では生物多様性保全に関わる事業が主となってきている。二次的自然の保全の為、地域資源 (特に放置竹林) の適正な管理と利用 (エネルギー、マテリアル、食料) に関わる活動を重点的に実施中。

また、SDGsを念頭に農福連携にも取り組み中。

EPO九州からのお知らせ

環境パートナーシップ

地域循環共生圏

SDGs同時解決事業

協働取組加速化事業

ESD推進事業

GreenGift プロジェクト

インタビュー

九州沖縄の環境NPO



2021年12月15日

「再生エ...

の助成金・公募情報

環境省が運営する再生可能エネルギー (再エネ) 導入ポータルサイト「再エネスタート」では、個人、地方自治体、企業それぞれに再エネ導入のメリットや具体的な導入方法などを紹介し、再エネの導入をサポートしています...

環境省 九州地方 環境パートナーシップオフィス(EPO九州)

<https://epo-kyushu.jp/epo-topix/interview/2586-2021-11-16-07-54-39.html>

#196

一般社団法人九州循環共生協議会「緑でつながるパートナー」

2022年11月3日 (木)

BS朝日 つながる絵本

https://www.bs-asahi.co.jp/tunagaruehon/lineup/prg_196/



環境省主催 地域循環共生圏フォーラム2021



イベントは 終了 です

Beyondミーティング×地域循環共生圏フォーラム2021特別版

詳細

※今回のBeyondミーティングは、環境省ローカルSDGsにおける「地域循環共生圏フォーラム2021」にて開催される特別版になります。

■地域循環共生圏フォーラム2021とは？

2021/10/27 (水)

15:20 - 17:20 JST

📅 カレンダーに追加

会場 オンライン

九州SDGs経営推進フォーラム 分科会活動 ピッチ会 ～みんなに知って欲しい、サステナブルな未来に向けたチャレンジ～を開催します

2022年8月19日
九州経済産業局

九州SDGs経営推進フォーラムでは、会員によるSDGsの普及や実践につながる自主的な取組を“分科会”活動と位置付けています。今年度は、9つの分科会が、アート・環境・健康・災害・流通・SDGs経営などのテーマを設定し、SDGsの実践に向けた活動を行っています。

今回、各分科会からの発表を通して、SDGsをより身近に感じていただくことを目的として、「分科会活動ピッチ会」を初めて開催いたします。サステナブルな未来に向けた様々なチャレンジについてご紹介いたしますので、SDGsにご関心のある多くの皆さまのご参加をお待ちしています！

日時	2022年9月5日(月曜日) 13時30分～15時00分
開催方法	オンライン(Microsoft Teams)
定員	150名(先着順)
参加費	無料
対象	SDGsに興味・関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。(九州SDGs経営推進フォーラムの会員に限りません)
主催	九州経済産業局、九州SDGs経営推進フォーラム
概要	<p>発表順</p> <p>1.アートで考えるSDGsプロジェクト 株式会社シーノ・オフィス 白神 しのぶ 氏</p> <p>2.SDGsパンププロジェクト推進フォーラム 一般社団法人九州循環共生協議会 山村 公人 氏</p>

https://www.kyushu.meti.go.jp/event/2208/220819_1.html



<https://www.env.go.jp/seisaku/list/kyoseiken/sdgs/leader/report-fukuoka.html>

- 千葉県
いすみ市
- 滋賀県
東近江市
- 福岡県
久留米市
うきは市

第3回SDGsリーダー研修 久留米・うきはレポート

研修スケジュール

11/29 金

- 13:30～14:15
 - 開会挨拶・ガイダンス
環境省/事務局
- 14:15～14:40
 - 久留米市の取組と課題の概要
講師：久留米市 商工観光労働部
観光・国際課
眞子 克彦 氏
- 14:40～15:05
 - うきは市が取り組むゼロワール構想と地域資源の活用、関係人口づくり
講師：講師：うきは市 うきはプラン
ド推進課 地域振興係
佐々木 理沙 氏

11/30 土

- 9:00～15:45
 - 視察&ディスカッション
講師：A、Bのグループごと (★)
- 15:45～17:00
 - ここまでの振り返り
講師：事務局
- 17:10～17:40
 - 竹活用産業育成システム構築による水源里山の保全と都市の循環共生圏づくり
講師：一般社団法人九州循環共生協議会 理事・事務局長 山村 公人 氏
- 17:40～18:40
 - 地域循環共生圏の創造に向けた取組を考

12/1 日

- 9:00～9:45
 - 発表準備・グループ分け
- 9:45～12:00
 - 研修成果発表会
- 12:00～12:15
 - 発表のまとめ
事務局
- 12:15～12:30
 - 閉会挨拶・事務連絡
環境省/事務局

参考URL

本資料作成に当たり、参考にしたものをご案内します。

P12 協働②[参考事例] Table for Two

- ・運営会社サイト(参加企業・団体一覧) <https://jp.tablefor2.org/business/partner/>
- ・農林水産省 <https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/network/case/case04.html>
- ・三井物産 https://www.mitsui.com/jp/ja/sustainability/contribution/employee_participation/volunteer/1237626_12852.html

P12 協働③障がい者支援施設への寄付<返礼品付き>

- ・竹の買取事例(民間企業)

<https://www.yameshi-shokokai.jp/member/list/%E6%B8%85%E6%B0%B8%E8%A3%BD%E7%AE%B8%E6%89%80/>

https://kunimoto-s.co.jp/take/take_kaitori.htm

- ・竹の買取行政補助

【鹿児島県薩摩川内市】<https://jisedai-energy-satsumasendai.jp/support/16378/>

【鹿児島県出水市】https://www.city.kagoshima-izumi.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r334RG00001207.html

【福岡県八女市】<https://www.city.yame.fukuoka.jp/soshiki/5/6/2/2/1454652527300.html>

P12 協働③[展開例]KASSAIを利用して個人を巻き込む

- ・KASSAI応援サイト一覧(ご参考) <https://sites.kas-sai.jp/>
- ・大和証券のKASSAIを利用したチャリティイベント <https://prt看imes.jp/main/html/rd/p/000000050.000056375.html>
- ・セント・フォースのチャリティイベント <https://prt看imes.jp/main/html/rd/p/000000023.000056375.html>